

# 平成22年度の決算審査を報告します

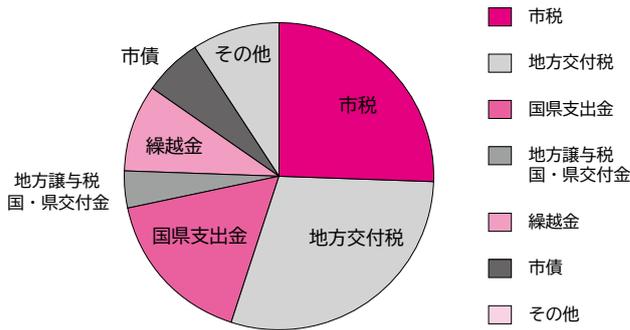
## 平成22年度歳入歳出決算審査

9月27日と28日、議員全員で構成する予算決算特別委員会におきまして、平成22年度の歳入歳出決算審査を行いました。一般会計と国民健康保険事業など11の特別会計、および水道事業の1公営企業会計を審査いたしました。また9月29日、同委員会におきまして、3件の補正予算案を審査しました。

### H22年度 歳入総額 546億5096万円(一般会計)

#### ◎科目別歳入状況

国や県からの歳入が多いことがわかります。平成22年度における自主財源と依存財源の構成比は43.9対56.1となっています。



**一般会計歳入**

主な質疑は次の通り。

【問】子ども手当での収入決算額が予算の1/10。なぜか。

【答】さまざまシステムが確定しないうちに見積もらざるを得なかった。

【問】職員退職手当を、

【問】子ども手当は、国からの収入決算額で、人件費なども全てまかなえたのか。

【答】100%まかなって市の支出はない。

単位：千円

市税	地方交付税	国県支出金	地方譲与税 国・県交付金	繰越金	市債	その他	合計
14,026,441	16,151,274	9,065,701	2,139,749	5,054,023	3,321,400	4,892,376	54,650,964

基金を使わず支出して、当初予算に計上したものを再度繰り戻している。ルール分は基金から支出すべきだ。

【答】執行に当たっては検討して行きたい。

【問】保育料の収入未済が多い。どういった理由が考えられるか。

【答】景気の低迷が理由の一つと考えられる。

【問】22年度の収納率は。

【答】99・23%である。

【問】過年度滞納分の収納率は。

【答】22年度回収できたのは10・3%である。

【問】公営住宅の収入未済も多い。保証人をつける規則ではないのか。

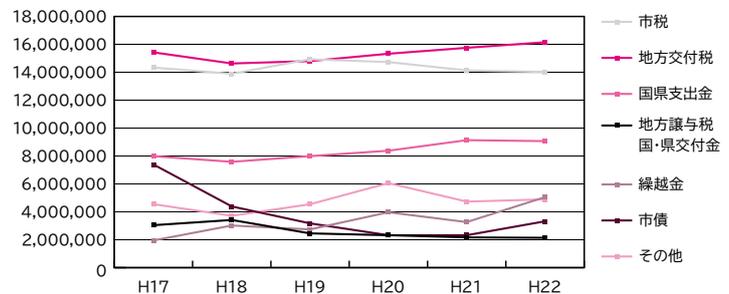
【答】1件につき、2名の連帯保証人をお願いしている。

【問】保証人に処理をお願いしたことは。

【答】過去にはある。

#### ◎科目別歳入状況経年比較

市税収入はほぼ横ばい、国や県からの交付金が増加傾向です。



単位：千円

	H17	H18	H19	H20	H21	H22
市税	14,336,379	13,893,647	14,930,133	14,730,676	14,130,694	14,026,441
地方交付税	15,426,288	14,629,730	14,799,966	15,326,746	15,751,308	16,151,274
国県支出金	7,987,222	7,583,851	7,991,458	8,379,735	9,134,938	9,065,701
地方譲与税 国・県交付金	3,044,042	3,416,979	2,456,882	2,325,225	2,169,206	2,139,749
繰越金	1,950,939	3,019,986	2,741,188	3,969,623	3,266,624	5,054,023
市債	7,393,800	4,387,900	3,174,300	2,325,800	2,325,200	3,321,400
その他	4,547,407	3,715,067	4,543,704	6,059,254	4,733,035	4,892,376
合計	54,686,077	50,647,160	50,637,631	53,117,059	51,511,005	54,650,964

## 一般会計歳出

主な質疑は次の通り。どこを中心に検討する。

#### 総務費・消防費などに 関する質疑

【問】入湯税の用途が、ゴミ処理と観光となっているが、今後の考え方は。

【答】今後は観光事業と、温浴施設の維持など、

【問】ペレットストーブのペレットには補助があるが、薪ストーブの薪にはない。

【答】薪には様々な調達方法があって制度構築が難しい。現在、検討中。

【問】ペレットストーブのペレットには補助があるが、薪ストーブの薪にはない。

【答】薪には様々な調達方法があって制度構築が難しい。現在、検討中。